

## 俳句 大津俳句会

好天を一日たまはり初桜

井芹眞一郎

折れてなほ枝先に咲く野梅かな

秋山 恵

書を伏せて睡魔の襲ふ春煖炉

大塚喜久子

色もまたやはらかなりし春の土

佐賀 久子

カルデラを睥睨へいげいしたる春の雷

松尾 昭雅

うらゝかや高くたかくと鶯の笛

岡崎 浩子

一陣の風にここぞと椿落つ

森山美穂子

山峡の人住みし跡梅ひらく

佐澤 俊子

## 俳句 つのはな句会

風花の遺骨納めし墓に舞う

塚本 洋子

梅ヶ香よ煩惱の闇抜けて来い

柴田しのぶ

福豆撒いてふつとニンゲンこわくなる

志賀 孝子

古書店消えてコンビニの春灯

田上 公代

飛花落花我終焉はまだ未定

木庭 杏子

春浅しまだらもようの世界地図

上杉 波

機関紙に訃報の並ぶ春の冷え

矢嶋 道子

密やかに水に映せり黄水仙

水野 春子

戦争よ終われ黄の薔薇植えている

梅木トキエ

## 短歌 大津短歌会

血溜りの中立ちつくす兵士あり  
キーウの青き空の下びに

吉永 恵子

刈草をひねもす燃して日の暮れて  
その夜の吾れの眠りは遠し

坂本 杲子

冬至今日黄ばえする柚子はべらせ  
て独り言いう欲張りかしら

管野 静

恒例の豆まく嫁の大声に息子と吾  
は笑いで敗けず

豊岡ミツル

季節とき定め違わず咲くや菘の花こよ  
なく愛し人を忘れじ

小平 善行

山みあいの古溜池せいげつに青月の光のおち  
て水面みを照らす

鞍 岳志

## 生涯学習情報誌2月号のお詫びと訂正

生涯学習情報誌2月号の5ページ「俳句・短歌」  
につきまして、誤りがありました。正しくは次  
のとおりです。お詫びのうえ訂正します。

## 大津短歌会

この手もて吾子あや殺めたる母あやなると小さき記事あり古き新聞  
この手もて吾子あや殺めたる母あやなると小さき記事あり古き新聞  
吉永 恵子